

天坂恭輔選手(北海道・(有)たの塗装工業)が 内閣総理大臣賞に

国交大臣賞・浅津選手(東京)、厚労大臣賞・伊藤選手(熊本)

日塗装・全国建築塗装技能競技大会

(一社)日本塗装工業会(加藤憲利会長)が主催する、第28回全国建築塗装技能競技大会が、9月10日、11日の2日間にわたり、札幌市の北海道立総合体育センター「北海きたえーる」にて開催された。

この大会は、塗装技能の向上を目的に1968年に第1回が開かれ、以後原則隔年で開催されているもの。全国から選抜された38名の精鋭が、日頃から鍛えた塗装の腕を競い合った。

具体的な課題は、A. つや有り合成樹脂エマルションペイント刷毛塗り仕上げ、B. 可とう形改修塗材E仕上げ、C. 内装水性特殊多彩意匠仕上材仕上げ、D. 自由仕上げ(テーマ：商業施設、オフィスビル、住宅用マンションなどのEVホールの壁画を創作する)、E. 調色、の5種。作業中の所作や養生、片づけなども審査の対象となることから、会場には緊張感が漲っていた。

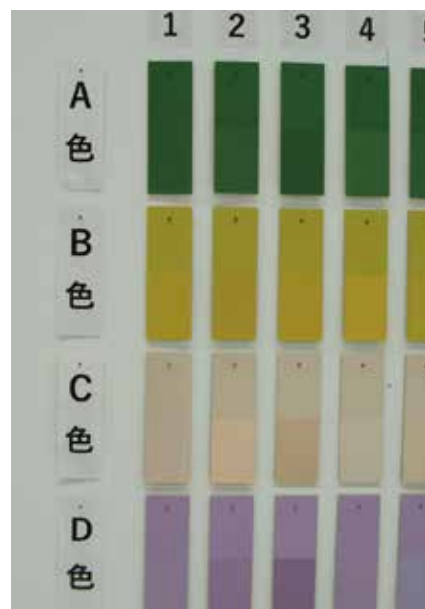
2日間の熱戦の末、内閣総理大臣賞に輝いたのは、北海道支部の天坂恭輔選手(有)たの塗装工業)。受賞後の取材に対し天坂選手は、「いつもとは違う競技会場の環境下で、工程を大きく左右するパテの乾き具合を把握するのにとても苦労した。時間の制限があり、少々乾きが悪いと感じつつも(次工程に)行くしかないという場面もあったが、最終的に良い仕上がりになってよかった



▲天坂選手とその作品



▲競技中の天坂選手



▲調色の部門賞を獲得した天坂選手(No.1)の作品